

第5回 東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターシンポジウム

海洋教育から考える“津波・防災”

—東南海地震に備えて—

平成24年7月8日(日) 13時~17時30分 **参加費：無料**

会場：豊橋技術科学大学 A棟101講義室
(駐車場有・豊橋駅からバス30分)

東日本大震災の教訓

堺 茂樹(岩手大学工学部 教授)

渥美半島の過去の地震・津波から学ぶ

藤城 信幸(田原市立和地小学校 校長)

子どもたちの手作りハザードマップで進める防災教育

寺本 潔(玉川大学教育学部 教授)

遠州灘の海岸利用と防災教育

青木 伸一(大阪大学大学院工学研究科 教授、豊橋技術科学大学 客員教授)

パネルディスカッション 海に囲まれた日本の海洋教育と防災意識

共催 東京大学 海洋アライアンス 海洋教育促進研究センター / 豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター / 日本財団
後援 豊橋市 / 豊橋市教育委員会



参加申込み・お問い合わせ

東京大学理学系研究科 海洋教育促進研究センター事務局

ホームページ：<http://rcme.oa.u-tokyo.ac.jp/information>

FAX：03-5841-8777 / TEL：03-5841-4395 / Eメール：literacy_jimu@oa.u-tokyo.ac.jp

※FAXの場合は、必要事項(氏名、所属、電話番号、FAX番号、Eメール)をご記入の上お申込み下さい。

海洋教育から考える“津波・防災”

— 東南海地震に備えて —

平成24年7月8日(日) 13時~17時半

会場：豊橋技術科学大学 A棟101講義室

開催趣旨

2011年3月11日の東日本大震災の後、東海・東南海・南海地震の連動同時発生を想定した震度、最大津波高、浸水地などが、政府や研究者から相次いで発表されています。いつどこで起きるか予測できない地震や津波に対して、日頃からの防災意識の大切さが言われています。私たちは、この大震災から何を学ぶべきなのか、子どもたちの安全をどのように守ってゆくのか、そして、子どもたちにこの経験をどう語り継いでゆけばいいのか、といった問題を検討する機会として、初等・中等教育の段階において海洋教育の普及を推進する東京大学海洋教育促進研究センターと豊橋市および周辺の市町村の地域防災・減災に向けた活動の中心である豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンターの共催でシンポジウムを企画いたしました。海と人との共生、および、津波防災教育という視点から、海洋教育の大切さについて考えます。

FAX 参加申込書

以下の内容をFAXまたはEメールでご連絡ください。

お申込み先：豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター

FAX 番号： **0532-44-6568**

電話番号： 0532-44-6574

Eメール： carm@office.tut.ac.jp

お名前

所属・役職

電話番号

FAX 番号

Eメール

以下の東京大学のHPからもお申し込みいただけます。

<http://rcme.oa.u-tokyo.ac.jp/information>

時間	総合司会 増田幸宏（豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター副センター長）
13:00-13:10	開会の辞 浦辺徹郎（東京大学海洋アライアンス副機構長）
13:10-14:00	「東日本大震災の教訓」 堺茂樹（岩手大学工学部教授）
14:00-14:40	「渥美半島の過去の地震・津波から学ぶ」 藤城信幸（田原市立和地小学校校長）
14:40-14:50	休憩
14:50-15:30	「子どもたちの手作りハザードマップで進める防災教育」 寺本潔（玉川大学教育学部教授）
15:30-16:00	「遠州灘の海岸利用と防災教育」 青木伸一（大阪大学大学院工学研究科教授）
16:00-16:10	休憩
16:20-17:30	パネルディスカッション「海に囲まれた日本の海洋教育と防災意識」 司会・宮崎活志（東京大学海洋教育促進研究センター上席主幹研究員） 堺茂樹，藤城信幸，寺本潔，青木伸一， 川口達也（東京大学大学院農学生命科学研究科研究員）
17:30	閉会の辞 山田聖志（豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター長）